

憲法ってなんだろう？ 9条はなぜ作られたの？ 芸術や言論表現活動に、私たちの暮らしに、それはどう関わるの？
～藝大生と市民がともに学び考えるための「連続講座」です。

芸術と憲法を考える連続講座

2018年 夏までのラインナップ

藝大生も一般市民も、
どなたでもご参加いただけます。

参加費無料
事前予約不要

第5回

4/25(水)

安倍改憲と 表現の自由

18:30



山田 健太 (やまだ・けんた)

1959年生まれ。専修大学人文・ジャーナリズム学科教授、専門は言論法。日本ペンクラブ専務理事。放送批評懇談会、自由人権協会、情報公開クリアリングハウスなどの各理事を務める。著書『放送法と権力』『見張り塔からずっと 政権とメディアの8年』『法とジャーナリズム 第3版』『言論の自由 拡大するメディアと縮むジャーナリズム』など多数。毎日新聞、東京新聞、琉球新報にコラムを連載中。

※藝大生と山田先生の討論コーナーを予定しています。

第6回

5/19(土)

知ってますか？ 作文・美術教育が 罪とされた時代

14:00



治安維持法下の日本で、多くの若い国語教師、美術教師、学生らが逮捕された、北海道綴方教育連盟事件と生活図画事件とは？

佐竹 直子 (さたけ・なおこ)

1966年、釧路市生まれ。NHK釧路放送局などを経て、北海道新聞釧路支社報道部記者。北海道新聞釧路根室版に31回にわたった連載をもとにまとめた著書『獄中メモは問う 作文教育が罪にされた時代』(北海道新聞社、2014年)で、2015年度日本ジャーナリスト会議賞(JCJ賞)、地方出版文化功労賞を受賞。

※同時上映『伝える、伝わる～生活図画事件の証言』(制作:旭川工業高校KBS旭工放送局、全映協グランプリ2015学生部門優秀賞ほか多数受賞)

松本五郎作「レコードコンサート」▶



第7回

6/22(金)

へいわってすてきだね

18:30

～沖縄のゆうき君とぼくの絵本作り～



へいわって なにかな。ぼくは、かんがえたよ。沖縄慰霊の日(6/23)前夜に送る絵本ライブ。



長谷川 義史 (はせがわ・よしふみ)

1961年、大阪生まれ。独特のタッチとユーモアあふれる作風で、社会性のあるテーマの絵本作りに取り組む。『ぼくがラーメンたべるとき』で日本絵本賞、小学館児童出版文化賞を受賞。『へいわってすてきだね』でMOE絵本屋さん大賞第1位、リプロ絵本大賞第2位など受賞。ほかに『8月6日のこと』、『おへそのあな』など絵本多数。

第8回

7/24(火)

「ナチスの手口」と 芸術

18:30

憲法改正にナチスの話を持ち出し「あの手口、学んだらどうかね」と麻生副総理が発言してから5年。今、政権党の主導で改憲への動きが急速に本格化する中で、九条をめぐる論議とならび浮上しているのが、緊急事態条項の追加である。ワイマール民主制は、ナチ党の台頭をなぜ防げなかったのか？全権委任法とは何か？芸術家たちはどう生き、行動したのか？

石田 勇治 (いしだ・ゆうじ)

1957年、京都市生まれ。東京大学大学院総合文化研究科教授。専門はドイツ近現代史。マルブルク大学Ph.D取得。ベルリン工科大学客員研究員、ハレ大学客員教授を歴任。主な著書に『ヒトラーとナチ・ドイツ』、『ナチスの「手口」と緊急事態条項』(長谷部恭男氏との共著)、『過去の克服 ヒトラー後のドイツ』など。



第9回

8/20(月)

イメージする。表現する。行動する。

15:00

～核兵器のない世界へ～

クロストーク

川崎哲「ぼくたちは世界をどう動かすか」
岡村幸宣「核の脅威と対峙する芸術」



川崎 哲 (かわさき・あきら)

1968年、東京生まれ。NGOピースボート共同代表。核兵器廃絶国際キャンペーンICAN国際運営委員。日本の被爆者とともに国連の核兵器禁止条約採択に向けた運動を強め、ICANの2017年ノーベル平和賞受賞に貢献した。著書に『新版 核兵器を禁止する 一条約が世界を変える-』、『核拡散 一軍縮の風は起こせるか-』など。



岡村 幸宣 (おかむら・ゆきのり)

1974年、東京生まれ。東京造形大学造形学部比較造形専攻卒、同研究科修了。2001年より原爆の図丸木美術館学芸員として勤務。丸木位里・俊夫妻を中心に、社会と芸術表現のかかわりについての研究、展覧会の企画などを行っている。著書『《原爆の図》全国巡回』で2015年平和・協同ジャーナリスト基金奨励賞受賞。ほかに『非核芸術案内』など。

主催 東京藝術大学 音楽学部 楽理科 後援 日本ペンクラブ

共催 自由と平和のための東京藝術大学有志の会

会場 東京藝術大学 上野キャンパス 音楽学部5号館1階 109教室 (毎回開始時刻の15分前に開場)